



Color Guide

カラーガイド

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。

●このキットをよりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー
(「ガンダムアストレイレッドフレーム」用、その他カラーセット)をお使いください。

本体等ホワイト部の塗装色

ホワイト(100%) +
ネービーブルー(少量)
またはガンダムカラー ホワイト5

本体等レッド部の塗装色

レッド(90%) +
イエロー(10%)
またはガンダムカラー レッド1

胸等ブラウン部の塗装色

マホガニー(95%) + ブラック(5%)
またはガンダムカラー ファントムグレー

腰等ライトグレー部の塗装色

ブルーグレー(60%)
+ ホワイト(40%)
+ レッド(少量)

ビームライフル等 グレー部の塗装色

ダークグレー(100%)

GUNDAM ASTRAY RED FRAME



クリアーグリーン(100%)

目、センサー等クリアーグリーン部の塗装色

イエローグリーン(100%)

後頭部、センサー等グリーン部の塗装色

ゴールド(100%)の上にクリアーイエロー(100%)

刀ゴールド部の塗装色

ゴールド(100%)の上にクリアーオレンジ(100%)

鞘先端カッパ部の塗装色

LOWE GULE



フレッシュ(80%)

+ ホワイト(10%)
+ ウッドブラウン(10%)
肌の塗装色

イエロー(50%)
+ ホワイト(50%)
ベストの塗装色

インディブルー(80%)
+ パーブル(20%)
スポンの塗装色

スカイブルー(40%)
+ パーブル(30%)
+ ホワイト(30%)
パンダナの塗装色

ブルー(50%)
+ インディブルー(30%)
+ レッド(20%)
シャツの塗装色

ブラウン(70%)
+ オレンジ(20%)
+ ウッドブラウン(10%)
髪の塗装色

ダークアース(80%)
+ グリーン(20%)
靴底の塗装色

ホワイト(90%)
+ ブラック(10%)
ハチ: 本体の塗装色

スカイブルー(90%)
+ インディブルー(10%)
ハチ: モニターの塗装色

GUNDAM ASTRAY RED FRAME

MBF-P02 GUNDAM ASTRAY RED FRAME

1/100 MBF-P02 ガンダムアストレイ レッドフレーム

LOWE GULE



OFFICIAL FILES MBF-P02 GUNDAM ASTRAY RED FRAME

MBF-P02 GUNDAM ASTRAY RED FRAME : SPEC

■型式番号:MBF-P02
■全高:17.53m
■重量:49.8t

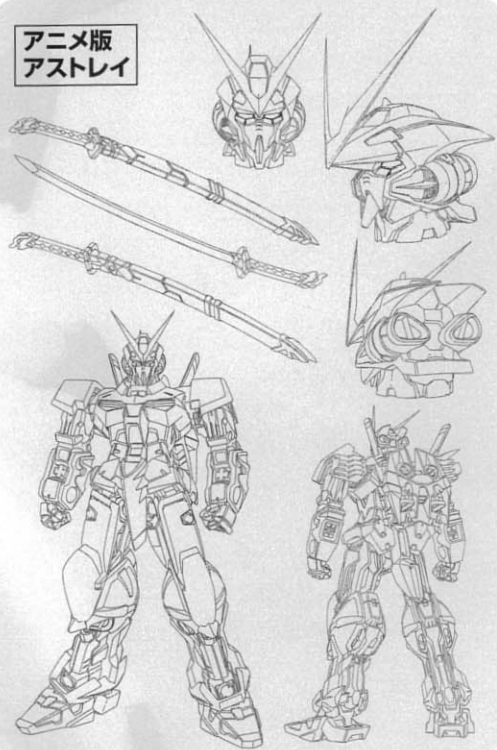
■武装

頭部75ミリ対空自動バルカン
(イーゲルシュテルン)
ビームライフル
ビームサーベル
ガーベラストレート

ガンダムアストレイ レッドフレーム

オーブ連合首長国が自国防衛用につくり上げたMBF(メインバトルフィギュア)「アストレイ」シリーズのプロトタイプ。その開発にあたってオーブの半官営企業モルゲンレーテ社は同時期に地球連合から発注されていた、GAT-Xシリーズの多くのデータを盗用したと思われる。だが、ブラックボックス化されていたPS装甲はコピーが出来ず、故に設計コンセプトとして「機体を軽量化し運動性を重視する」という案が採用された。P01~P03まで製造されていた機体は、ザフト軍によるヘリオポリス襲撃の際、極秘開発の露見を恐れた関係者により施設ごと廃棄されたはずであった。が、直後、火事場泥濘的に現場に突入したジャンク屋ロウ・ギュール等に偶然発見され、レッドフレームは彼の愛機に、そしてブルーフレームはひょんなことから因縁の出来た闘兵、麗雲(ムラクモ・ガイ)に渡された。

アニメ版 アストレイ



『心配するな、俺はジャンク屋だ。人殺しはしない。』

LOWE GULE

■身長172cm・体重60kg・年齢18歳

アニメ版 ロウ

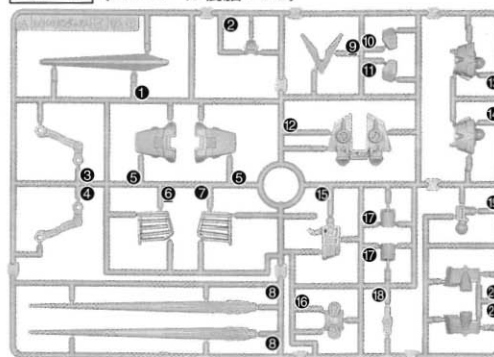


ロウ・ギュール

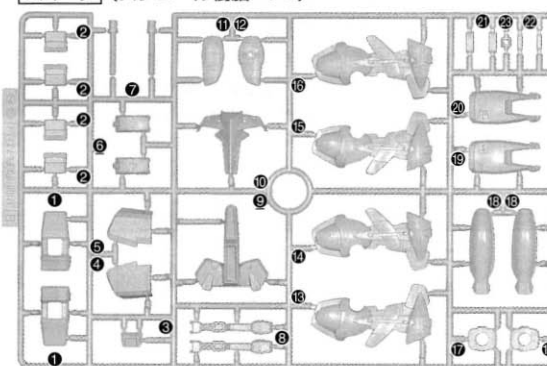
宇宙を股に掛ける誇り高きジャンク屋。全てのメカに対して異常ともいえる愛情を持つ熱血漢であり、その行動原理の多くは本人曰く「死んだいいちゃんが言い残した、ジャンク屋十カ条」による。ただし、それは時と場合により数が増えたり文言が変化したりするファジーな教訓でもある。思考より行動が先に出るタイプではあるが、それが時に常識では考えられない強引で窮地を脱する結果になる。本来、ナチュラルである彼がMSを操縦することは不可能なはずなのだが、それを可能とするのは(人口知能「8(ハチ)」のサポートがあるにせよ)やはりそんな天性の資質による物なのだろうか?

パーツリスト

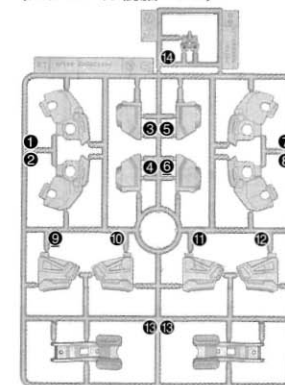
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



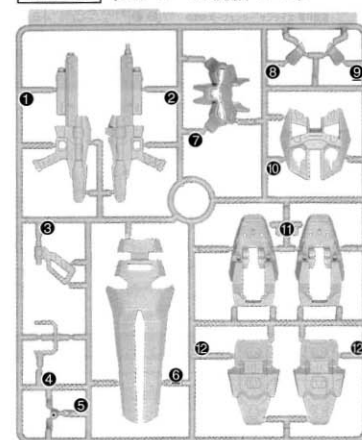
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



D1・D2パーツ (スチロール樹脂: PS)



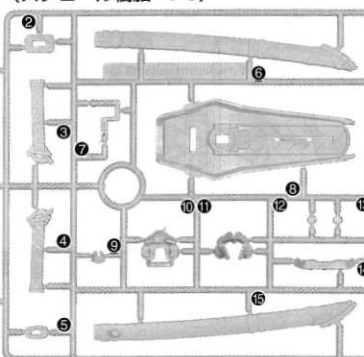
Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



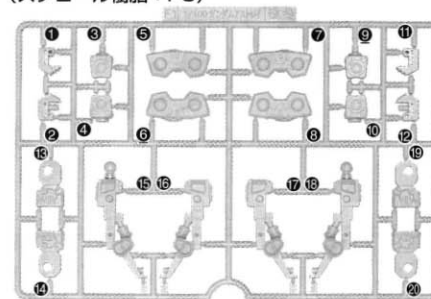
C1パーツ (スチロール樹脂: PS)



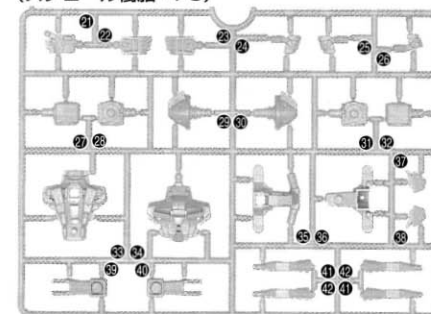
C2パーツ (スチロール樹脂: PS)



F1パーツ (スチロール樹脂: PS)



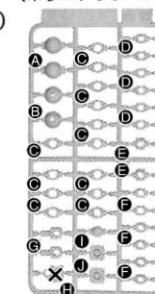
F2パーツ (スチロール樹脂: PS)



Gパーツ (スチロール樹脂: PS)



〈PC-116〉 (ポリエチレン: PE)



●シール……………1
●マーキングシール……………1

警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・接着をするところ



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます

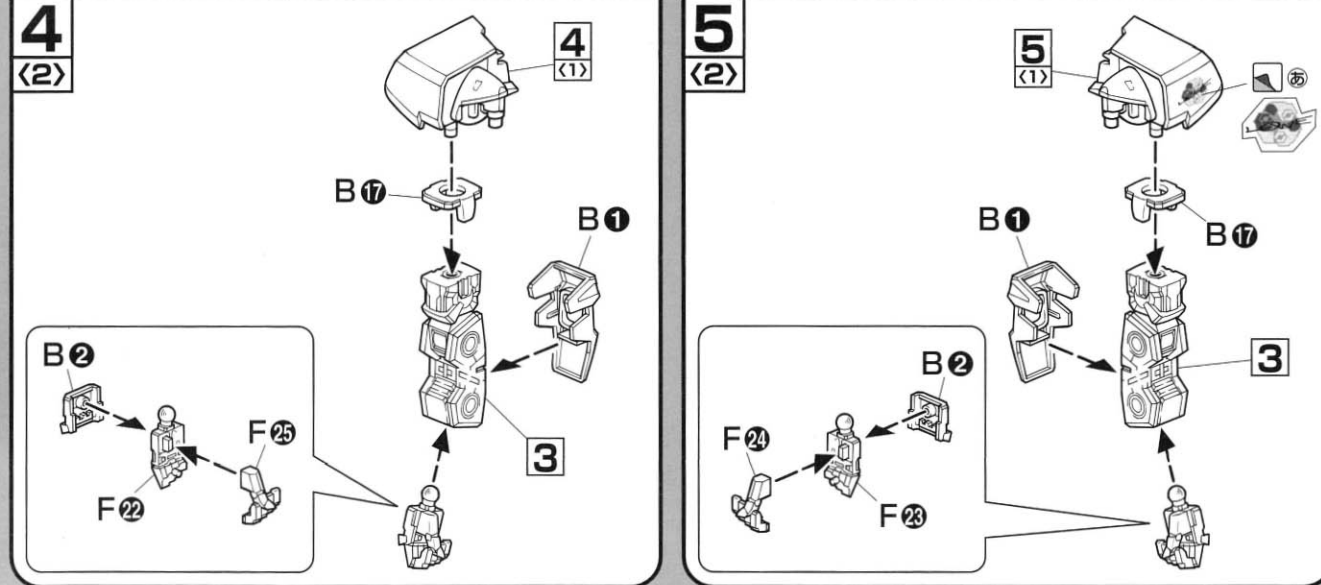
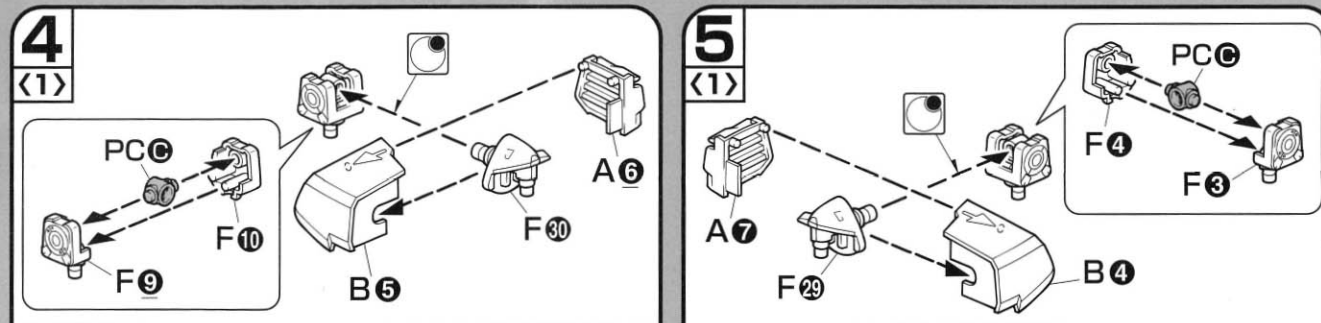
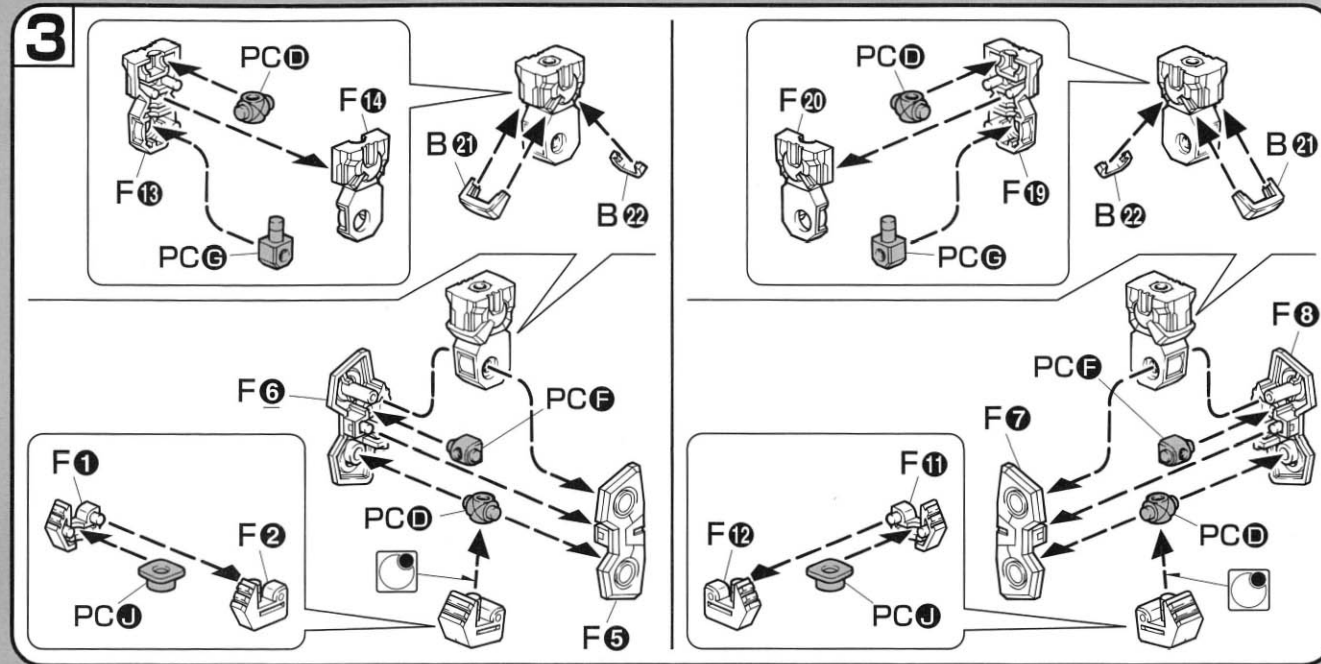
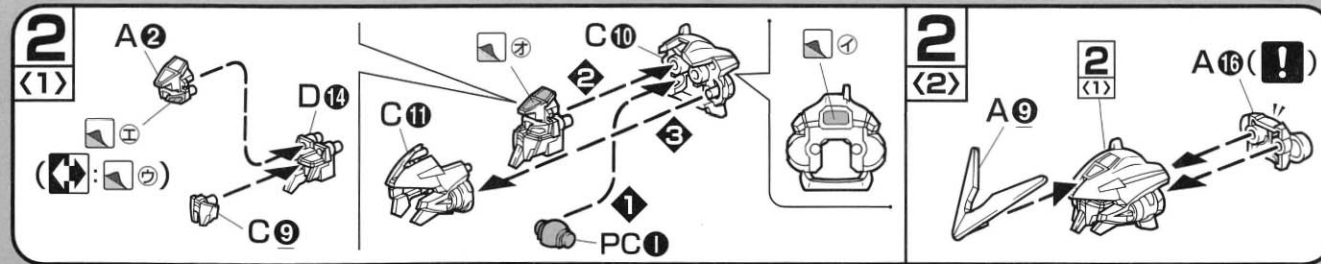
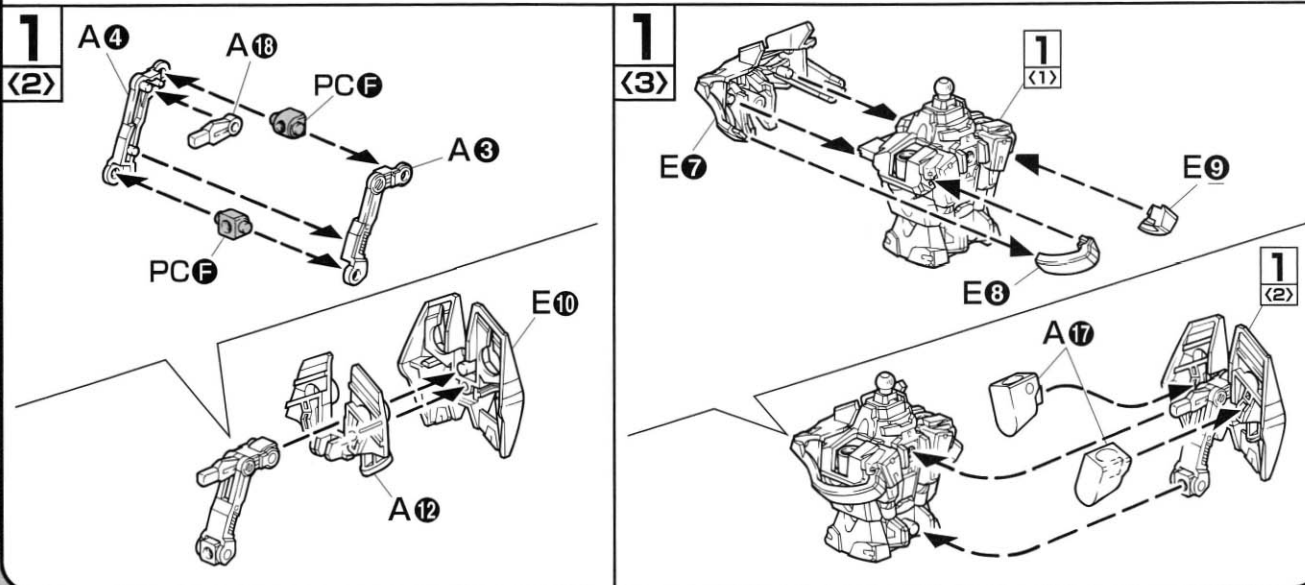
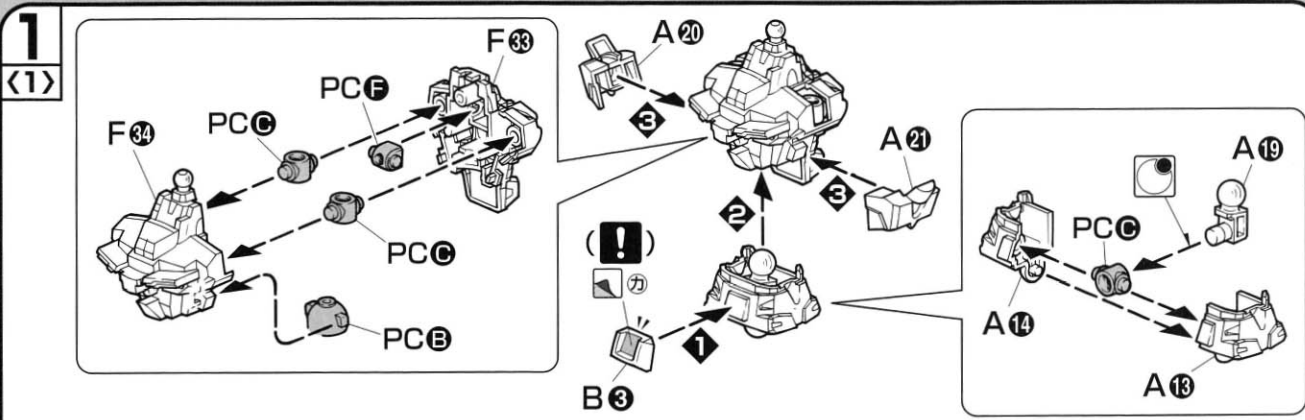
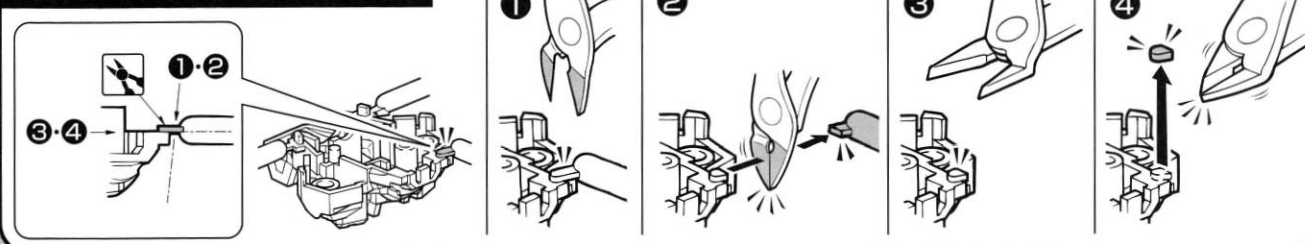


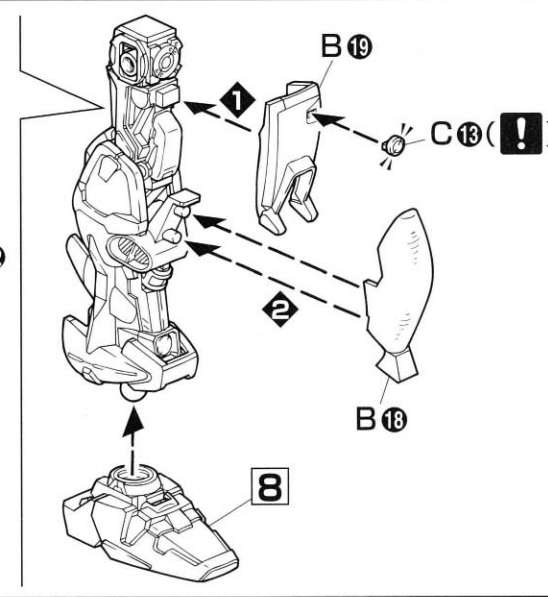
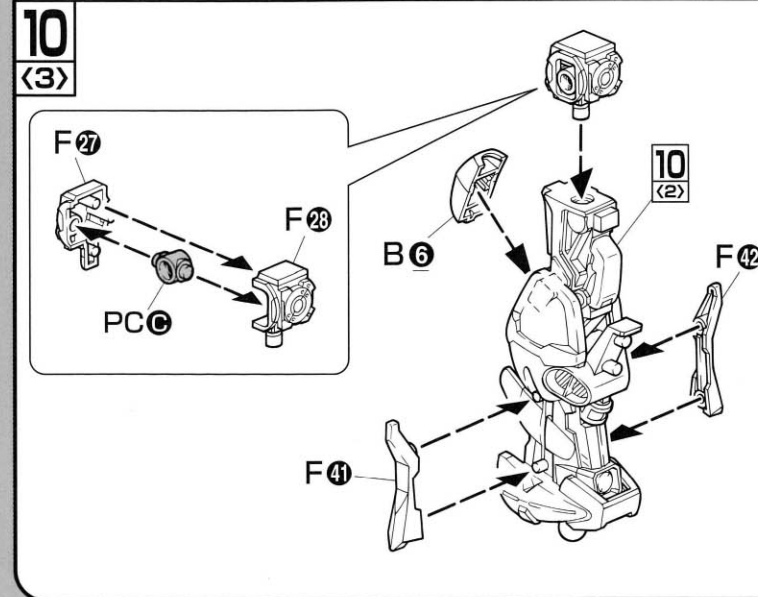
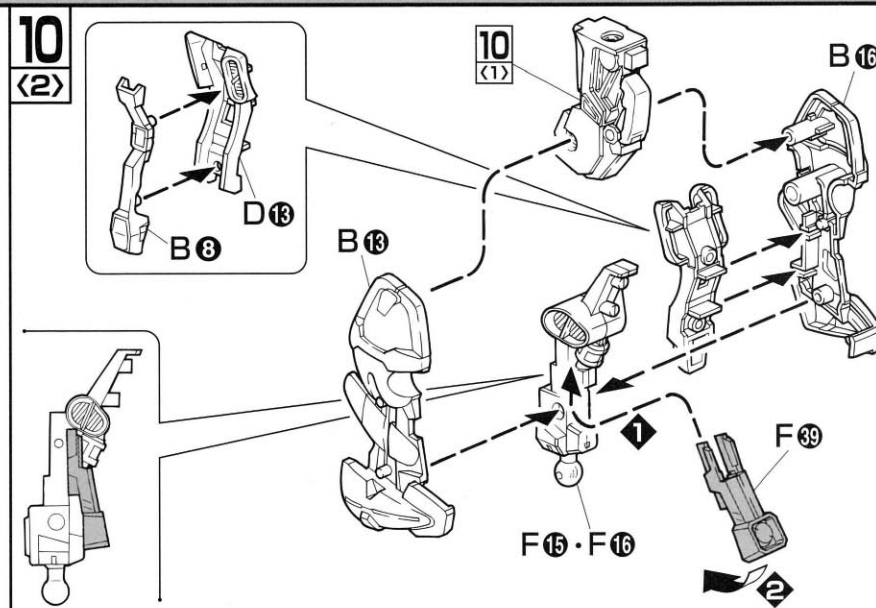
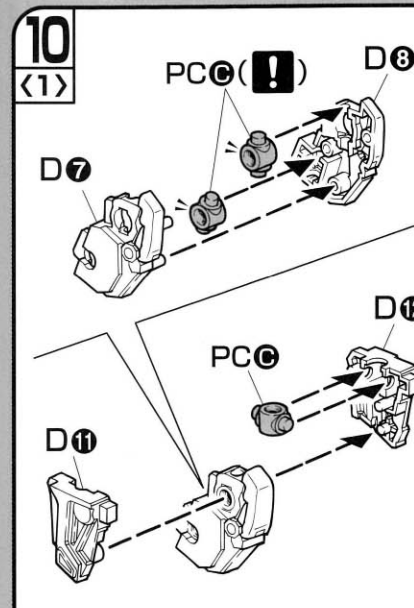
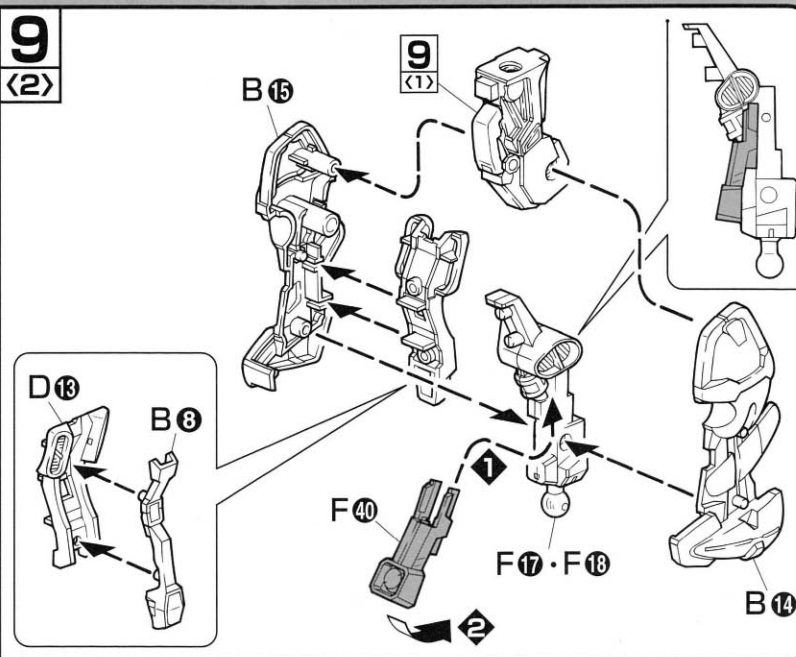
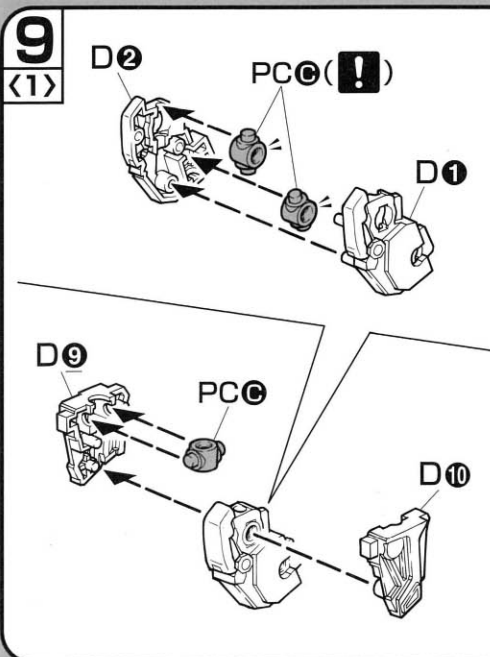
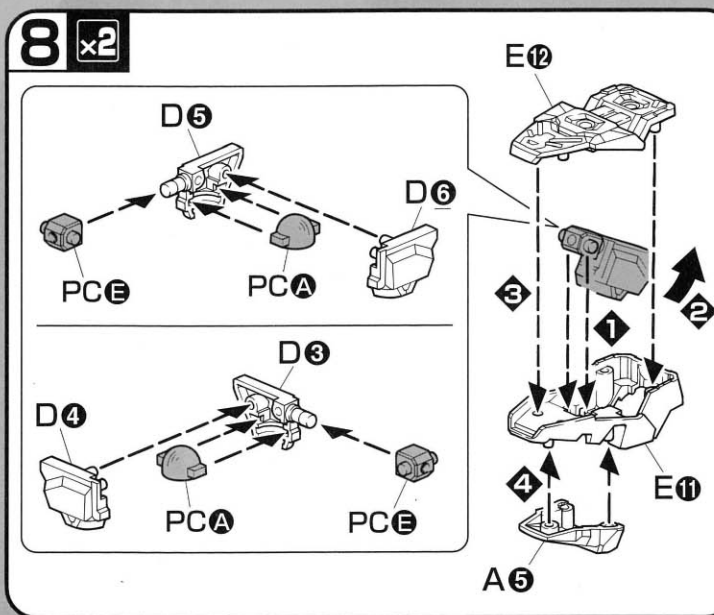
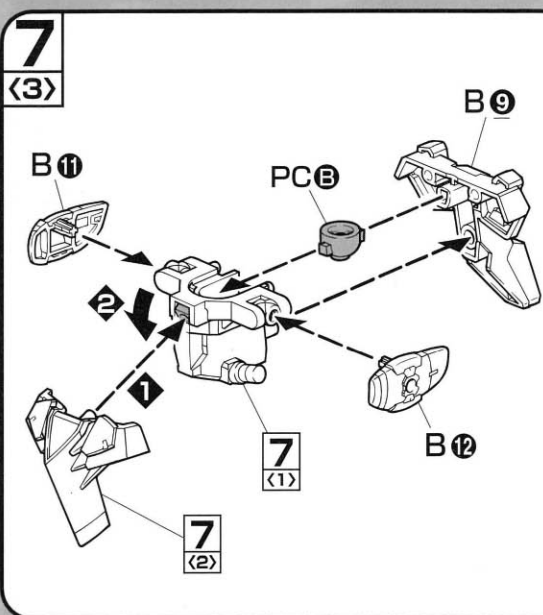
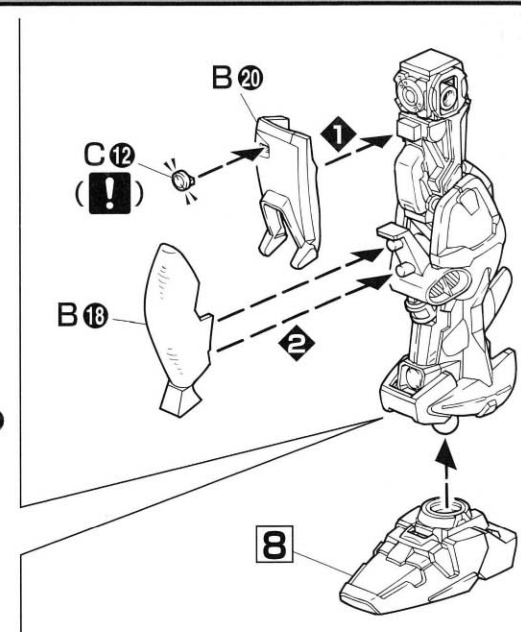
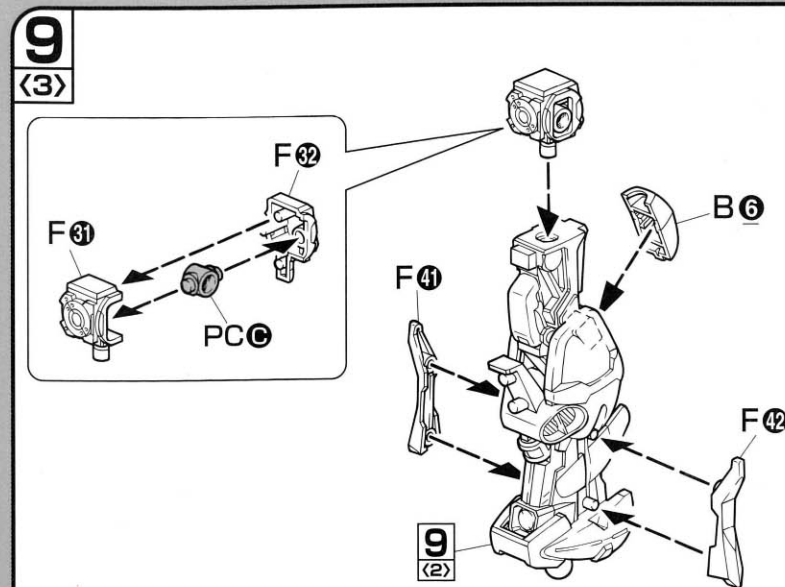
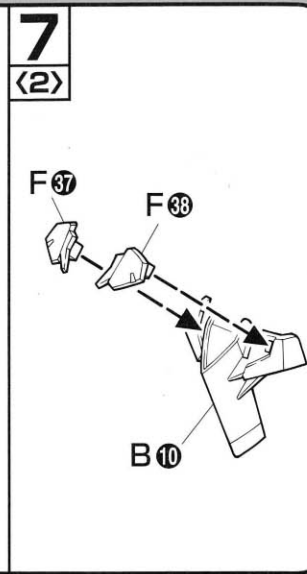
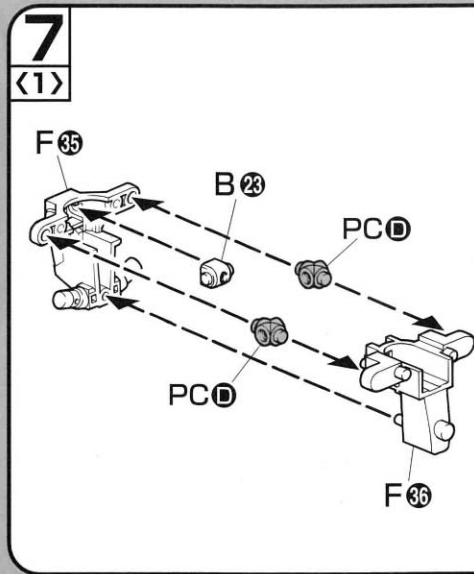
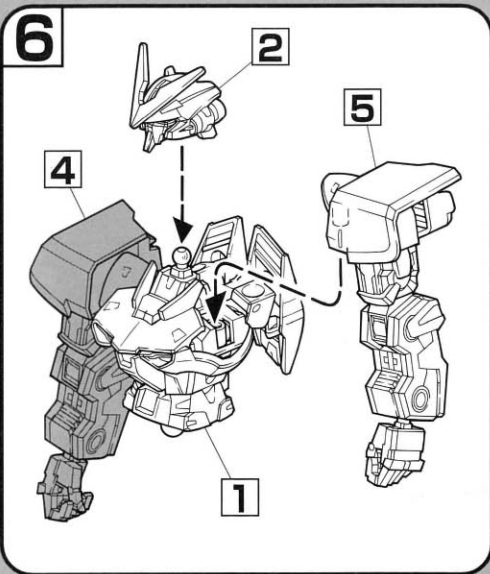
・どちらかを選んで取り付ける

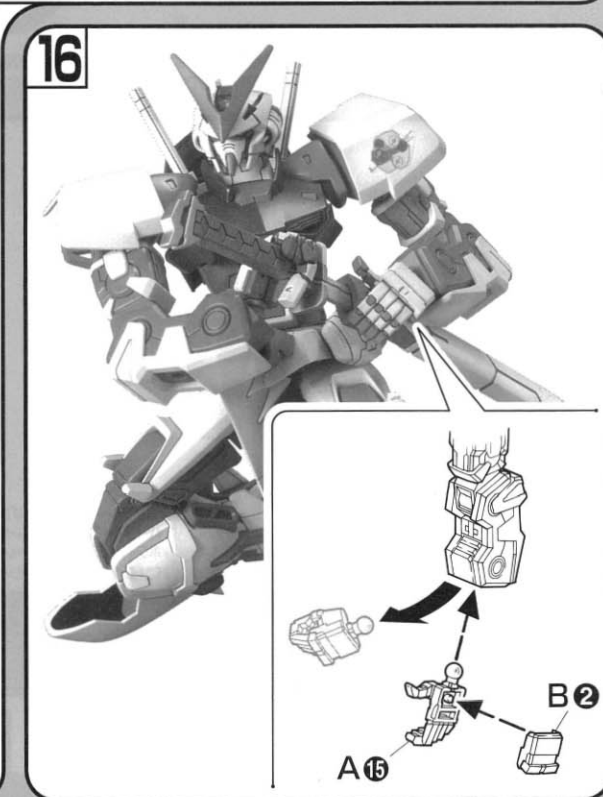
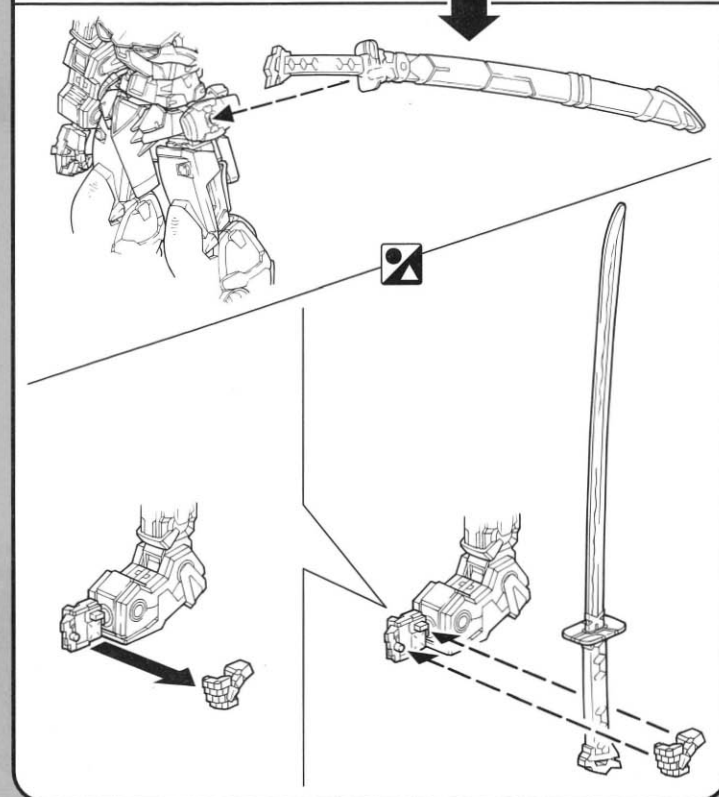
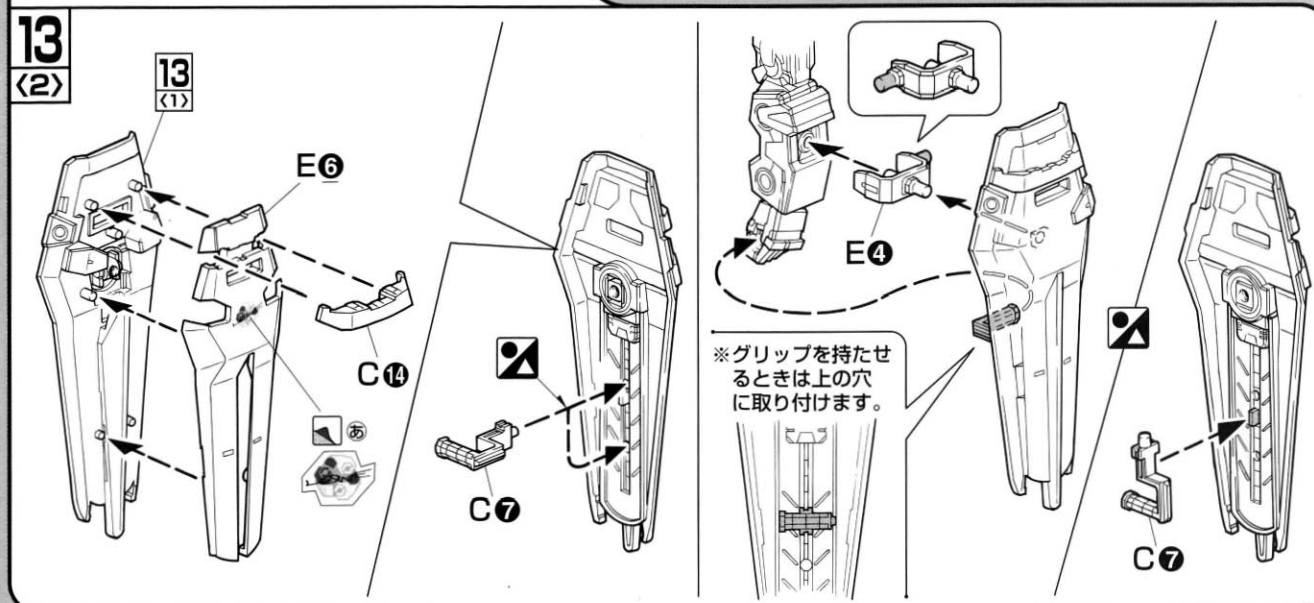
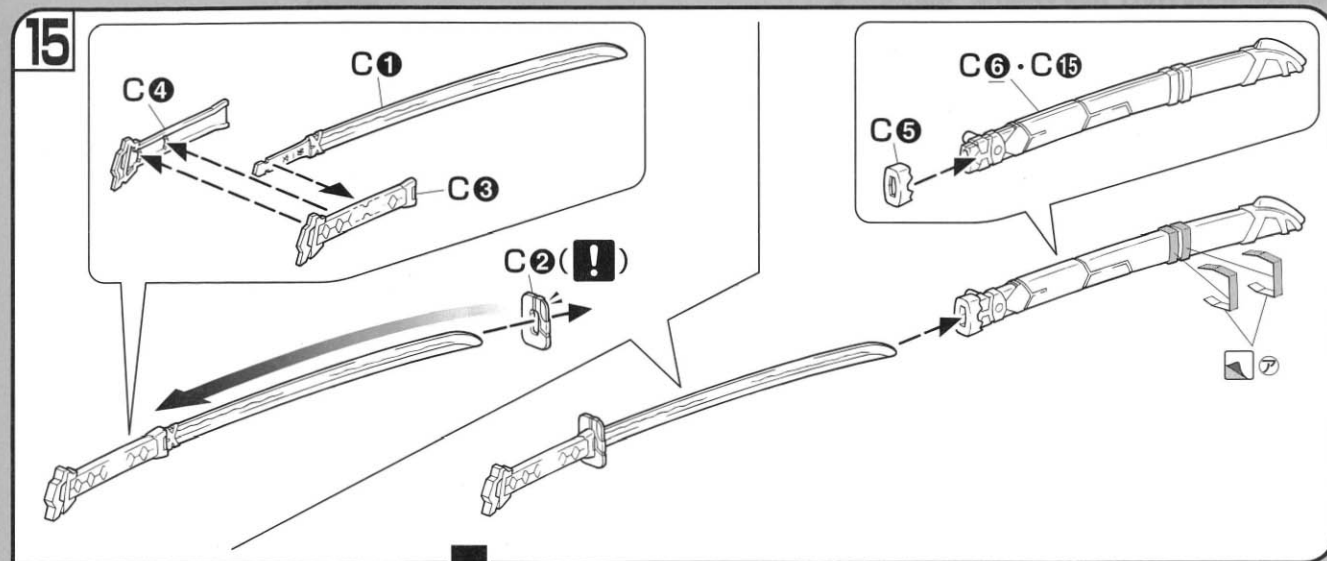
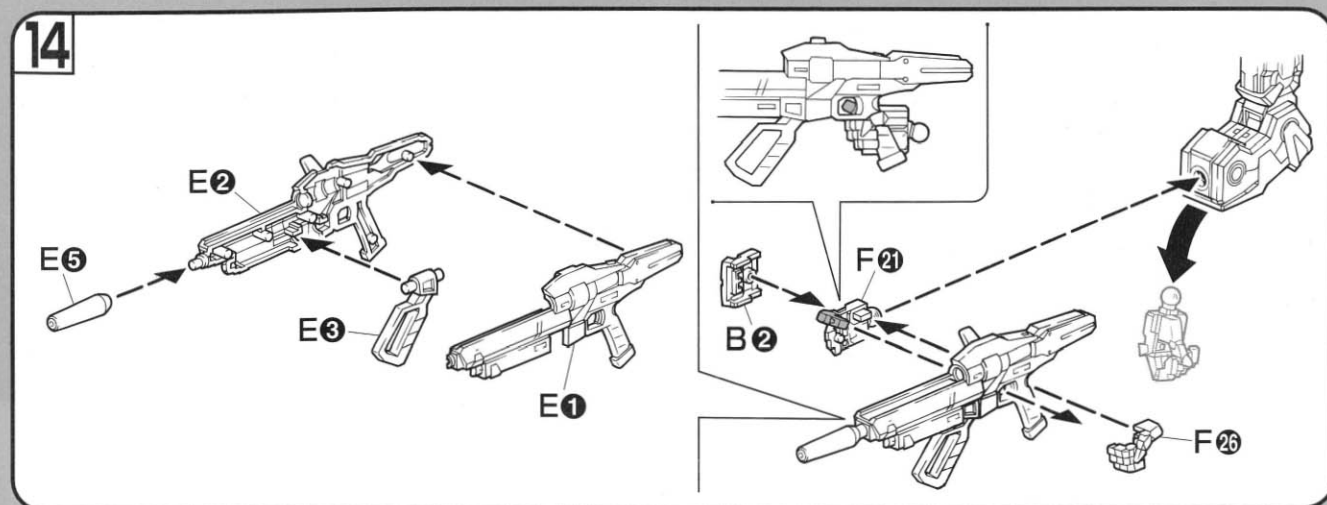
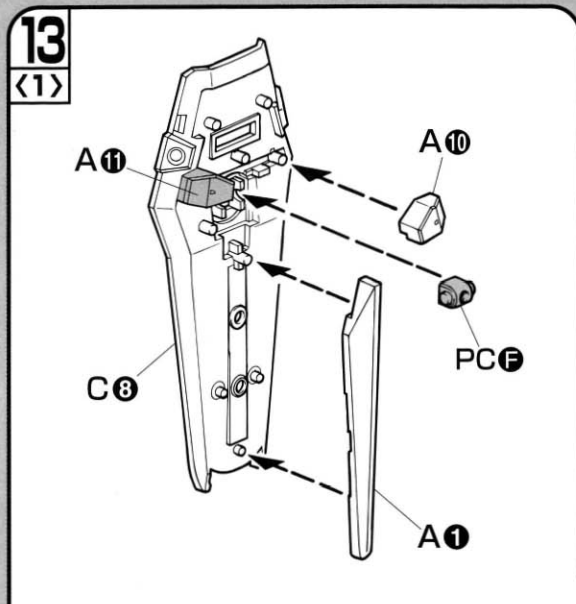
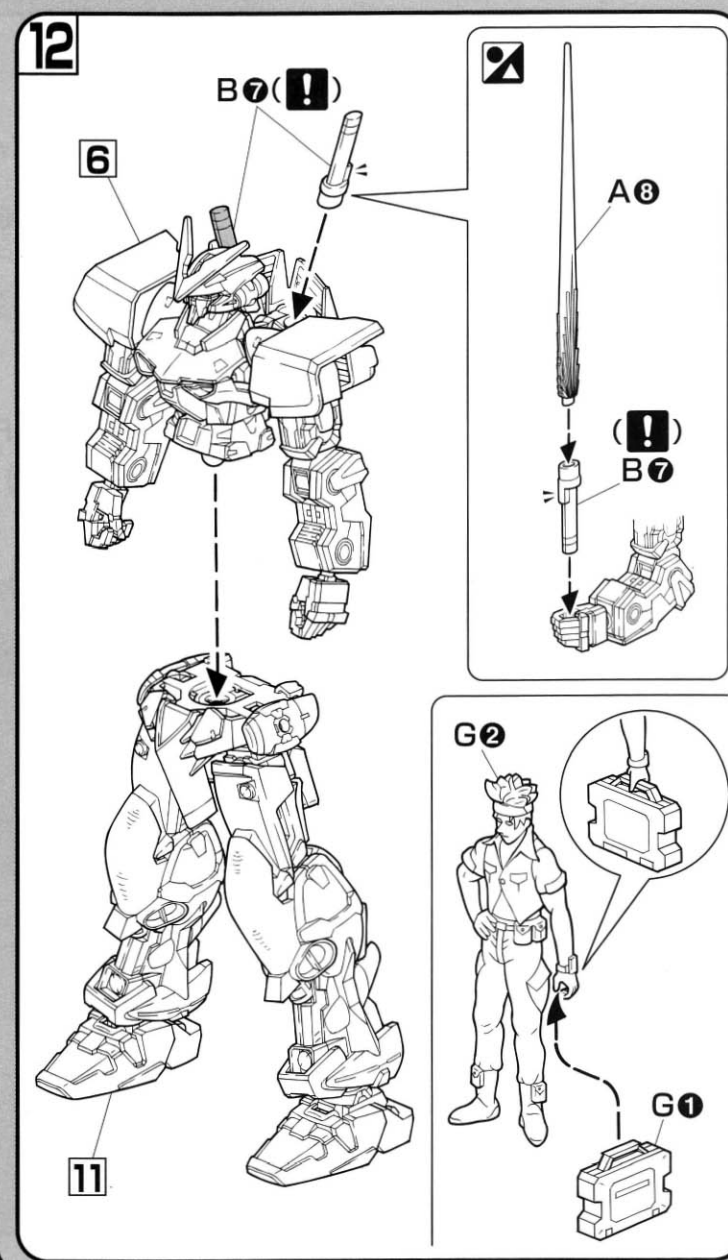
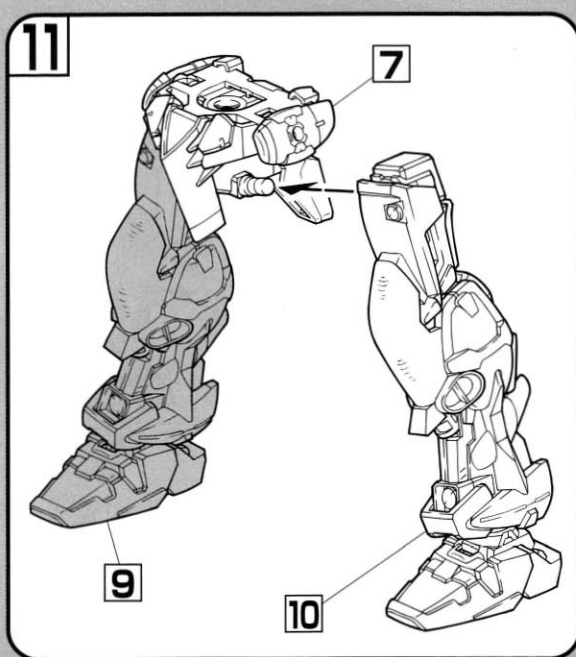


・反対側も同じように動かします

※A・D・Fパーツは下の図の様に切り取ります。







FRONT

REAR



ガンダムアストレイ レッドフレーム

GUNDAM ASTRAY RED FRAME

LOWE GULE
ロウ・ギュール



ガーベラストレート

廃棄されたコロニー「グレイブヤード」で打たれたサムライブレード。戦闘で朽ちかけていた物をロウが復元した。実物の刀ではあるが「技」しだいで特火重粒子砲のビームごとジンを一刀の元に両断する切れ味をみせる。グレイブヤードは古の技を受け継いだ技術者が多く移住していたが、その特殊技能に眼をつけた路奪者達に荒らされ、現在では老匠「羅・奥（ろん・のう）」一人が、残された「墓標（データベース）」と共に隠棲している。



シールド

GAT-X102・105の標準装備である耐ビームコーティング仕様のシールド。消耗品として多数製造されたものを利用している。後にモルゲンレーテはこれを改良し更に大量生産、量産型「M1アストレイ」にも装備した。



イーゲルシュテルン

頭部左右に装備された対空自動制御機関砲。モルゲンレーテ社の主力商品を改良し、GAT-Xシリーズやその運用母艦となる予定であったアークエンジェル級特装艦にも装備された。アストレイの頭部はセンサー類や機関砲自体の換装が容易な構造となっている。



ハチ



ビームライフル

GAT-Xシリーズにおいて初めて完成をみた小型高出力のビーム兵器をアストレイのそれに転用した。掌にあるコネクターを通し機体本体から電源を供給している為ある程度の連射が可能である。また、そのコネクターでビームエネルギーを放電させることにより短期間ながらエネルギー塊を形成、接近戦における秘密技とすることも出来る。



ビームサーベル

ビームライフルと同じくGAT-Xシリーズ用に開発されたビーム新兵器。ライフルで実用化された高出力ジェネレーターとミラージュコロイド用の磁場形成機構を応用している。これを見るとアストレイは当時の最新MS技術をふんだんに使用（盗用とも言うが）して作られていることが判る。ただしレッドフレームはロウの性格ゆえに使用時間に制限があるため、サーベルよりももっぱらガーベラストレートが愛用されている。

バックパック
背面のバックパックは下方にスライドし、その下のジョイントに様々なオプションを装備することが出来る。アストレイは戦局に応じ、機体各部に装備を追加、あるいは換装することを想定し設計されている。その汎用性は広く、傭兵仕様となったブルーフレームの特注兵器や、ジャンク屋がスクラップからでっけ上がった奇想兵器まで幅広く運用することが出来る。



プロモーションアニメ「GUNDAM SEED ASTRAY RED FRAME」



ガンダムSEEDアストレイが装いも新たにプロモーションアニメ化！レッドフレームとロウの活躍が見れるぞ！